

ふしの本

2021.9

No.40

フレイル予防大作戦!! 早く気づいて健康長寿!! ふれあい・いきいきサロン

フレイルとは…

加齢によって心身の機能が低下し「要介護」になる手前の状態を言います。

穴吹 西山サロン



フレイル予防で健康体操やっています。

美馬 中宗重サロン



上手に塗り絵、間違い探して大笑い😊

木屋平 ミツ木山ゆい会



熱中症対策もしっかりと学んで仲間に伝えます。

脇町 馬木サロン



毎回、体組成計測定を楽しみにしています。

CONTENTS

P1 会長あいさつ/理事・監事名簿/評議員名簿/
評議員選任・解任委員名簿

P2 事業報告/決算報告

P3 在宅福祉サービス事業部活動

P4 共同募金配分金事業地域福祉推進公募配分金/
地域の福祉活動紹介

P5 社協会員会費/美馬市善意銀行/暮らサポ食料品提供依頼

感染予防対策実施中!



マスクの着用! 手洗い・手指消毒! ゼロ密!

(密着しない・密集しない・密閉しない)

令和2年度事業ならびに決算報告

令和2年度の事業ならびに決算が6月の理事会・評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせします。

令和2年度事業報告(要旨)

1 組織の基盤強化と社協事業の総合的推進

- 理事会・評議員会を開催すると共にコロナ禍でも各種事業を進め社会福祉法人として地域福祉の推進を図った。また、新庁舎での事業展開もスムーズに行えた。
- 市社会福祉大会の式典は中止となったが、第16回大会として社会福祉事業に功績のあった方等に対する表彰、感謝状の贈呈を行った。
- 社協会員会費の募集を行い、地域福祉活動事業やボランティアセンター事業及び地域支援事業等に活用し、地域福祉の推進を行った。
- 善意銀行運営事業は、多数の物品預託や目的預託をいただき、指定寄付であった生活困窮者自立支援事業や「ライフケアたがた」へ払い出しを行い、緊急用食料品等給付事業等に有効に活用できた。
- 発展強化計画は、社会福祉協議会のパンフレット作成や職員のスキルアップにつながり、地域共生社会実現事業では4地区の担当職員の配置ができた。
- 美馬市くらしサポートネット事業は、法人で生活に困窮されている方への食糧支援や、なんでも相談窓口等の社会貢献事業に取り組めた。

2 地域福祉力の向上と福祉人材の育成

- ふれあい・いきいきサロンリーダー等を対象に、日常に役立つ簡単な介護技術を学ぶ『介護予防サポーター研修』、学生等を対象に『車いす・高齢者疑似体験』や『認知症サポーター養成』等を開催し、地域の福祉人材育成に向けて取り組んだ。なお、コロナ感染症の影響により、予定していた地域リーダー研修会は開催を見送った。
- コロナ感染症の影響による地域活動の状況を踏まえながら、各地域で住民が自主的に取り組む「ふれあい・いきいきサロン」や「いきいき百歳体操」等の通いの場・介護予防の場の推進・継続支援のほか、小地域生活支援ネットワーク活動の啓発・継続支援により、地域の福祉力向上・継続に取り組んだ。
- コロナ感染症を考慮しながら、第3次地域福祉活動計画(5か年計画)に沿った地域活動を、地区別の実行委員を中心に地域住民とともに取り組んだ。また、実行委員で構成する第2層協議体において、地域に点在する生活課題・福祉課題について協議し、解決方法の検討や地域住民への啓発・発信に取り組んだ。

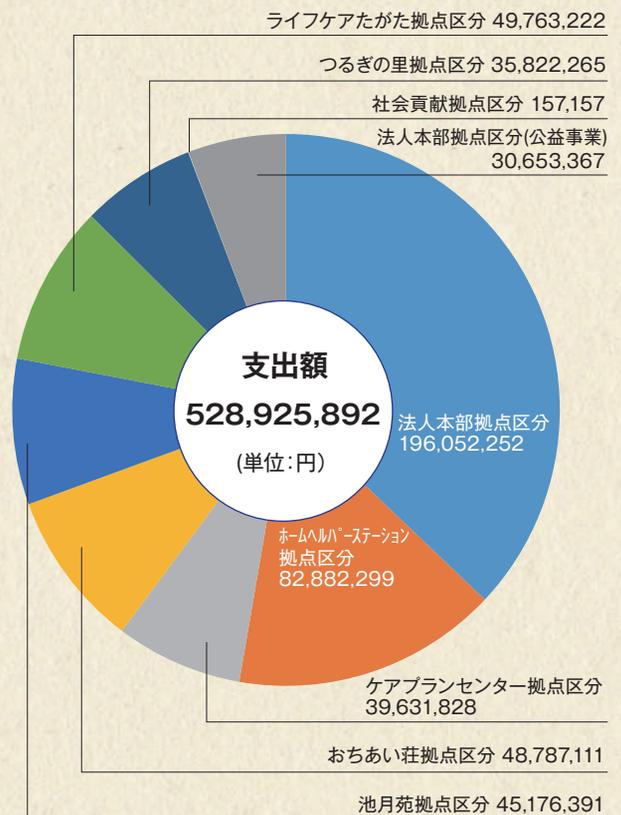
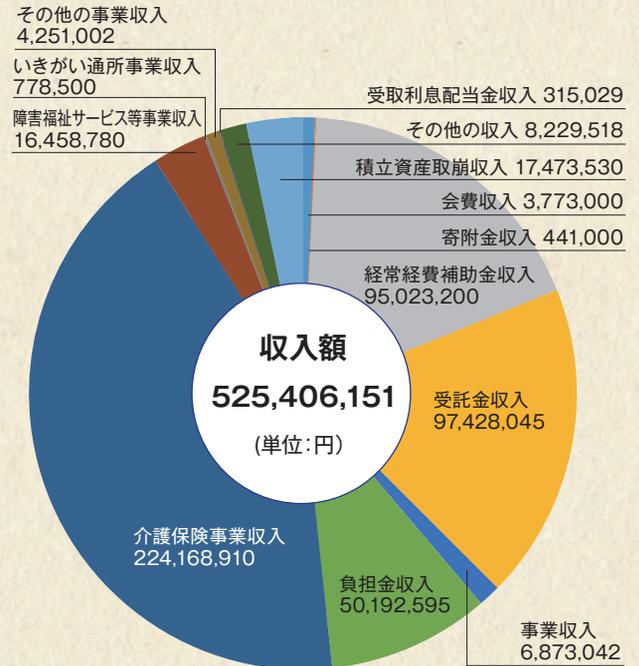
3 総合的な相談支援体制の確立と個別支援及び権利擁護の確立

- 法人後見事業、日常生活自立支援事業では、関係機関や多職種との連携のもと、判断能力が不十分な高齢者や障がい者等が個々に抱える問題に着目し、権利擁護を図ることができた。
- 生活困窮者自立支援事業では、コロナ禍の影響による失業や減収等で生活福祉資金の特例貸付の申請による相談が多く、経済的困窮だけでなく多様化複雑化した問題がからみあっており、食料品の提供や関係機関と連携して一つひとつ解決を図り支援を行った。
- ふれあい福祉総合相談では、毎週5地区の相談拠点において、ふれあい福祉総合相談員と社協相談支援員で相談支援に取り組んだ。

4 地域住民から必要とされる福祉サービスの提供

- 訪問介護事業は、安心、安全な日常生活が営めるように利用者の心身状況に合ったサービス提供を行った。
- 居宅介護支援事業所は、特定事業所として、オンライン会議を活用しながら各関係機関、多職種などと連携を図り、質の高いケアプラン提供を行った。
- 通所介護事業所は、コロナ感染予防対策を徹底しながら、各事業所ごとの特色を活かし、利用者の立場に立ったサービス提供を行った。
- 介護事業所利用者で生活課題を抱えている方に対し、必要に応じて社協各課と連携し、課題解決に向けた支援を行った。

令和2年度決算の概要



※収支差額(3,519,741円)は前期末支払資金残高を充当

介護が必要な方の在宅生活を支援します

居宅介護支援

美馬市社協ケアプランセンター
☎0883-52-0567

介護を必要とする方が、在宅で適切なサービスが利用できるよう、ケアマネージャーが心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に沿って、ケアプランを作成したり、サービスを提供する事業所との連絡・調整などを行います。

訪問介護

美馬市社協脇町ホームヘルパーステーション
☎0883-55-0211

高齢者や障がい者が自立した在宅生活を送るために、ホームヘルパーが利用者様の自宅を直接訪問して、入浴、排せつ、食事介助などの「身体介護」や調理、洗濯、掃除等の家事といった「生活援助」を行います。

通所介護

日帰りで送迎、健康チェック、入浴、食事、機能訓練などのサービスをご利用いただき、楽しく充実した一日を過ごしていただけるよう支援いたします。他の利用者様との交流を通して社会的孤立の解消や認知症予防が図られるとともに、利用者様家族の介護負担の軽減も図られます。

笑顔が集まる😊美馬市社協のデイサービス



- 美馬市美馬デイサービスセンター「池月苑」
- 美馬市脇町デイサービスセンター「おちあい荘」
- 美馬市穴吹デイサービスセンター「ライフケアたがた」
- 美馬市木屋平 デイサービスセンター「つるぎの里」

☎0883-63-5550
☎0883-53-1211
☎0883-56-0188
☎0883-68-3030

共同募金配分金事業地域福祉推進公募配分金

本会では赤い羽根共同募金を活用し、市内で活躍する非営利団体(ボランティア・NPO・自治会等)に資金助成を行っています。

令和3年度に助成した団体は以下のとおりです。

- こおざとまちづくり協議会
- 岩倉いきいきサロン岩倉永寿会
- 別所浜長寿会いきいきサロン
- いざ!男の台所“美馬さなえ組”
- 野村よろず会
- 健康づくり推進協議会
- 美馬市更生保護女性会穴吹支部
- こおざとまちづくり百歳体操



※令和4年度の募集は、1月頃を予定しています。

令和3年度 共同募金のご協力について

今年度も、全国統一のスローガン「**じぶんの町を良くするしくみ**」の下、10月1日から3月31日までの半年間、県下一斉に共同募金運動を行います。

共同募金会美馬市支部でも、募金活動を実施いたします。各家庭へお願いする「戸別募金」や「学校職域募金」など、様々な形でご協力を呼びかけています。お寄せ頂きました募金は県共同募金会を通じて、地域の様々な福祉活動などに活用させていただきます。

市民の皆様、あたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

★地域の福祉活動紹介★「野村よろず会」

(令和2年4月1日発足)

≡住民一人ひとりの暮らしや、地域を守る活動をしています。≡

小地域生活支援ネットワーク活動から波及し、結成された「野村よろず会」は、地域住民が主体となり、地域の課題に取り組み、関係機関につなげ、安心・安全・住みよいまちづくりの活動に加え、地域が繋がる交流へと活動の幅が広がっています。

これらの活動は、よろず会メンバーの生きがい・やりがい・達成感へとつながっています。

活動としては、

- ・**よろず相談窓口** 相談の聞き取り
- ・**毎月定例会** 相談内容や活動の協議
- ・**定期訪問活動** 地域の高齢者宅を訪問し、顔なじみの(アウトリーチ) 関係づくりや聞き取りを実施



作業後のよろず会メンバー

・**困りごと支援活動や地域支援活動**

個別支援(剪定やゴミ出し他)や地域の環境整備等を実施 年60回以上



「社協会員の募集」と「会費」のご協力のお願い

社協会員会費は地域福祉推進の基盤となります。

美馬市社会福祉協議会の運営は、市民の皆さまからの社協会員会費をはじめ、美馬市や徳島県社会福祉協議会からの補助金や委託金、寄附金等でまかなわれております。

“住民主体”の地域福祉活動の実施のため、会員制度をとっています。今後、さらに充実した事業をすすめていくためにも、ご理解とご協力をお願いいたします。



- ◇会員の区分 普通会員(会費一口500円)
特別会員(会費一口1,000円)
全世帯のみなさまに加入をお願いしています。
特に社協の福祉事業推進にご賛同いただける方は、特別会員として、ご協力をお願いします。
- ◇会員会費募集推進期間
10月1日～12月24日
会員会費の募集は、年間を通して行っています。

※自治会一括納入の自治会も会員把握のために、会員名簿の提出をよろしくご協力いたします。

美馬市善意銀行

認知症高齢者等 GPS 機器導入費用助成事業のお知らせ

善意銀行では、徘徊高齢者等の事故を未然に防ぐとともに、徘徊高齢者等を介護する家族等が安心して生活できる環境を整備することを目的とした事業を行っています。

- 助成申請できる方 美馬市内に在住する徘徊高齢者等を在宅で介護されている方
- 助成対象経費 本会が指定する機器を利用する際の初期導入費用
※通信料や月額利用料等については、利用者負担となります。
- 助成金額 19,000円を上限 助成は1回のみ
- 申請に必要なもの ①美馬市社会福祉協議会認知症高齢者等GPS機器導入助成金申請書
②印鑑



詳しいことは、総務課 ☎0883-53-7432



食料品提供のご協力をお願いします

『暮らしサポートみま』では、『食料品等』を介して地域における人と人とのつながりをつくり、地域で支え合う社会の実現に向けて活動しています。年間を通して食料品等の提供を募集しております。提供いただいた食料品等は『暮らしサポートみま』を通じて経済的に困窮した状態で緊急に食べるものがなくて困っている方への支援に活用させていただきます。



(食料品で賞味期限内・未開封のもの)

生活困窮者自立支援事業
美馬市生活支援相談センター 『暮らしサポートみま』

☎0883-53-7830